
オレのクリスマスは戦場だった

うい

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

オレのクリスマスは戦場だった

【Zコード】

N7162Y

【作者名】

うい

【あらすじ】

生まれた時から不幸のどん底とは言えない程度の不幸な人生を送つてきた桜庭琢磨。

彼は、そんな不幸な人生を変えようと、とあるゲームに参加する。——サンタ狩り——。サンタの持つ幸せの袋を手に入れることが目的の単純なゲームだった。彼氏彼女もいない寂しい奴らが集まるこのゲームに参加したのだが、ゲームが始まる数日前に、学校一の美少女に告白されてしまう。

「たつくん、付き合ってください！」

幸せになる前から幸せの絶頂を味わってしまい、戸惑つ琢磨だが、
彼女もゲームに参加すると言い出した。
今更参加を取り消すのも気まずくなり、所詮ゲームだからとタ力を
くくっていたのが間違いだつた……

戦場に幸せは転がっていない（前書き）

2009年のサンタ狩りと云々スレを、自分なりにアレンジしてみました
もちろんサンタは元ネタ通りにチート性能です

戦場に幸せは転がっていない

「」く平凡、と言えば語弊がある俺、**桜庭琢磨**。

今まで、プチ不幸とも言える人生を送ってきた。

財布を落とせば中身を抜き取られて警察に届けられる。

好きな女の子の前で派手に転ぶ。

音楽の授業で、歌のテストでは声が出ないなどなど。

不幸のどん底とも言えないのが憎たらしい。そんな小さな不幸ばかり起こる人生だった。

そんな俺がいる此処こそ、

「早く撃て！！ 逃すな！！」

戦場だつた。

もちろん、サバゲー（サバイバルゲームの略称）なんてチャチなもんじゃあ断じて無い。

本当に人が死ぬし、ものホンの銃弾だつて頭上を通り過ぎる。

AK-47を構える手が汗でびっしょりと濡れていた。ヌルヌルとした感触が気持ち悪い。

「おい、新人！ ボサツとしてんじゃねえ！！ “幸せ”は分けてやらねえからな！！」「は、はいっ！」

恐怖で肩を震わせ、グリップを力いっぱい握る。

先端近くに取り付けられた突起（なんて呼ぶのか分からないけど、ゲームとかで主観視点にした時、敵を撃つ目安になる部分）を敵に合わせる。

俺たちが何と戦っているのかって？

「たつくん」

隣でAK-47のマガジンを取り替えていた同じ年の女の子が、琢磨、つまり俺のあだ名を呼んだ。と言つても、呼んでいるのはこの女の子ぐらいなものだ。

その女の子は、油断すればこんな血が踊り肉が弾ける戦場でも抱きしめたくなるほどの笑顔を浮かべ、こんな血が人が舞い弾丸が刺していくるような危険地帯にいながら呑気な声をあげる。

「頑張つて、“幸せ”を手に入れようね」

「ぼお〜、つと顔が火照つてしまつた。
いけないいけない。見とれている場合じゃない。とにかく撃たないと。」

そういうえば、誰と戦つているのか、だつたつけ？　それは、背中に大きな袋を背負つて、赤い服と帽子を着た——

「くそつ……トナカイが邪魔で当たらねえ……」

白い髪を生やした、と言つても田の前に立つてほとんどがそんなの生やしてないけどね。

「くそ、当たらない……ツ……」

誰でも知つてゐるのに、誰にも信じられていない存在。

「君たちみたいな者達に、“幸せ”は勿体無い」

——サンタだつた。

戦場に幸せは転がっていない（後書き）

クリスマスにはまだ早い？

知らん！！

リア充爆発しろーー！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7162y/>

オレのクリスマスは戦場だった

2011年11月21日17時04分発行